



2023年春号（第17号）

新入生担任



上杉先生インタビュー



今年度の新入生担任は上杉和央先生です。新入生の皆さんに上杉先生のことを知ってもらいたくてインタビューしましたが、在校生に対しても熱いメッセージをもらいました。（石川、北嶋）



▲上杉和央先生



—専門の歴史地理学に興味を持たれたきっかけを教えてください。

高校生の頃から地理学が好きで、日本で一番古い地理学研究室で学びたいと思い、京都大学に入学しました。もともとは、経済学に近い地理学を研究したいと思っていました。だけど、大学に入学して初めて受けた授業で出会った歴史地理学の先生に衝撃を受けて、そこで人生が変わりました。

—先生が属している文化遺産学コースの「文化遺産学」とはどのような学問なのか教えてください。

文化遺産学コースにある4つの研究室のベースとなる学問をもとに、一般の人たちに文化遺産の魅力伝えるのが文化遺産学だと考えています。府立大学に赴任する前に博物館で学芸員をしていた時に、展示品が博物館で展示するに値する理由を一般のお客さんにわかるように伝えることを叩き込まれ、それが大きな転機でした。

博物館にいた頃には小学生向けに遠足を企画しました。その経験が文化遺産学フィールド実習という授業と、文化遺産学デザイン研修という課外活動に繋がっています。フィールド実習は文化遺産学のノウハウを学ぶ（＝インプットする）場で、デザイン研修はインプットした知識をアウトプットする場として始めました。大学の授業はインプットだけで終わってしまうので、アウトプットする大切さを伝えたいです。

デザイン研修は  
アウトプットの場

—最近の府大生を見ていて感じることはありますか？

2つ正反対のことを感じています。1つ目は、まだまだ視野が狭いと思います。勉強に限らず何でもいから、自分を広げる機会を持って欲しいと思います。

2つ目は、もっと好きなものにのめり込んで欲しいと思います。自由な大学生活で、徹底的に好きなことにのめり込むのもいいと思います。だけど、独りよがりではなく、好きなことに対する楽しさを周りの人に伝えられる能力を開発する4年間にしてほしい。

—新入生、在校生に一言お願いします。

京都を楽しんでください。特に下宿生はずっと京都にいるとは限らない人が多いから、歴史だけでなく文化とか自然とかをもっと楽しんで欲しいです。“ちゃんと京都してますか？”



## Q & A for 新入生



**Q1** サークルに入らなくても友達できますか？

**A1** できます！

歴史学科は授業も一回生のうちは同じものが多いので他大学に比べて濃い繋がりができるし、みんな歴史が好きなので話題には困りません！

もし学内に入りたいサークルがなかったら、他大学のサークルを覗いてみるのもアリです！！

**Q2** 高校で日本史と世界史片方しか勉強してないけど大丈夫ですか？

**A2** 基本的に大丈夫です！

大学で学ぶ歴史学は高校の授業と違って覚えるものではないので、前提知識についてはその都度説明があります。

ただ、見識を広げるために今まで触れて来なかった分野にも、手を伸ばしてみてください！

**Q3** おすすめのバイトありますか？

**A3** 大学の長期休暇を利用した遺跡発掘のバイトや、博物館など歴史学科ならではのバイトをしている先輩もいるので、ぜひ先輩や先生方に聞いてみてください！

(浅田、岩田、高寄)

## デザイン研修活動紹介



### れきしんぶん

デザイン研修では、「れきしんぶん」というニューズレターを春夏秋冬の年4回、取材から執筆、レイアウトまで全て自分たちで行って発行しています。れきしんぶんでは、歴史学科の行事やデザイン研修の活動を記事にまとめています。歴史学科の広報はもちろん、その時期の歴史学科の姿を活字として残すこともれきしんぶんの目的の一つだと考えています。れきしんぶんは学内各所に設置されているほか、附属図書館や歴彩館にも所蔵されています。下のQRコードから過去の「れきしんぶん」を閲覧することができます。ぜひご覧ください。(石川)

### 卒業生インタビュー

デザイン研修では、2021年度から歴史学科の卒業生の方々にインタビューを行っています。流れとしては、まず先生方に卒業生を紹介していただき、デザ研メンバーでその卒業生の方と連絡を取ってインタビューの日程調整や、内容の作成・確認などを行い、それから対面やオンラインでインタビューを実施します。

インタビューは様々な職種の方々のお話を聞くことが出来る貴重な機会です。また、歴史学科を卒業した方の大学生活や就活におけるアドバイスを聞くことで、自分の将来を考える機会にもなります。

インタビューの内容は歴史学科のWebサイトにアップしています。ぜひご一読ください。(黒住)



▲卒業生インタビューの様子

### PS交流会

デザイン研修では、2022年度から1回生と学科の先生方との交流をより深めるために、PS交流会を開催しています。デザ研のメンバーが各先生と連絡を取って、交流会の開催場所・日程などを調整し、その後それぞれの先生ごとに交流会を実施します。この交流会では先生方から様々なお話を聞くことができ、いくつでも参加することができます。1回生の皆さんは、自分の興味・関心のある分野の先生方との交流会だけではなく、自分が将来研究したい分野を考え、視野を広げるために、ぜひ多くの先生方との交流会に参加してみてください。(岩田)

今号は石川、中井(校正)黒住、中井、米山(編集)が担当しました。



過去のれきしんぶん  
(歴史学科)のサイト



作成：京都府立大学文学部歴史学科文化遺産デザイン研修  
発行：606-8522 京都市左京区下鴨半木町 1-5

京都府立大学文学部歴史学科